

て相対立したる現状にある。思ふに斯る情勢は我國資本主義が歐洲大戰を轉期して急速に發展し来りたる傾向に照應するものであつて、其の内部に低度の資本主義的並に封建的殘存物を多量に包蔵して、あるが爲である。斯る如き現状はやくもすれば其の運動を誘ふれり方向を導むべく、即ち一面に於ては資本家階級の組織的強壓及び懷柔と、他面に於ては國際的影響の擴大より、其一面に於ては資本家階級に對する闘争的精神を失ひ、他無産階級陣營の適確なる認識を把握し得ずして、徒らに國際的又は先進資本主義國の運動方針にたよりんとし、我國無産階級陣營の情勢と無関係に階級闘争の尖鋭化を主張するに至る。

(三)

而して其結果、贏ち得るものは階級闘争の墮落と擾亂とに他ならぬ。

かゝる情勢に於て、我國無産階級運動に課せられたる使命は、無産階級陣營の統一による經濟的闘争力の集中と、我無産階級運動の階級的政治運動への轉換と、更に此の兩者に必要とせられる無産階級指導精神の確立の層あり闘争である。

惟も我無産階級が踏入れる我國並に世界資本主義の現段階にありて支配階級の經濟的壓迫し組織運動累歴に對して我等の進展も期せんかたよきは我無産階級の統一の果る。否、經濟的要求すらも政治闘争と連結するに非ざれば實現不可能の情勢に置かれてある。

無産階級運動統一の努力は過去数年來、教々現けられたが、途中に失敗の歴史を残して今日に至つた。之、日本の社會的現況に適應せる指導精神の確立を統一運動は一個の夢想に均しをも主張せるものである。而して今日の分裂的傾向は、此の統一指導精神確立のため現象に他あらぬ。

(四)

然らば我等の指導とは何を、
惟も統一運動に於ける左右兩翼の失敗は、共に組合利己心に隨つたよ以來に何等の指導精神の發展を示さざることにあつた。かくて右翼は遂に此の努力を回避して徒らに現實主義の名の下に一切の組合中心の運動を墮し去り、左翼は遂に經濟闘争に絶望的態度を示して、全線的政治闘争の美名にかくれて困難を組合運動で抛棄せしむ、ある。これ明らかに無産階級の邪道上墮せしむと云ふべきである。